

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)

【公開番号】特開 2003-243583 (P2003-243583A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 29 日 (2003.8.29)
 【出願番号】特願 2003-9415 (P2003-9415)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 23/36 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 23/36 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 1 月 12 日 (2006.1.12)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

伝熱インターフェースであって、
 複数の通路が形成される伝熱体と、
 前記伝熱体に連結されたばね素子と、
 前記通路用の、熱伝導性を有する複数のピンとを備えており、
 前記複数のピンのそれぞれは、ヘッド部と、前記ばね素子と共に移動する軸部とを有し

、
 前記軸部の少なくとも一部分が前記通路の内部にあって、前記通路の内表面との間に空隙を形成しており、

前記ヘッド部のそれぞれは、連結される対象物の面形状に倣うように追従し、熱を前記対象物から、前記伝熱体と前記複数のピンのそれぞれとの間に形成された空隙を経て、前記伝熱体に伝達するように構成されることを特徴とする伝熱インターフェース。

【請求項 2】

伝熱インターフェースであって、
 対象物の表面に巨視的に追従するための、熱伝導性を有する複数のピンを備えており、
 前記複数のピンのそれぞれは、ヘッド部と軸部とを有し、
 前記ヘッド部は、前記対象物の凹凸面に、巨視的に略一致して、熱を前記対象物から、前記ピンを経てヒートシンクに伝達できるように構成されることを特徴とする伝熱インターフェース。

【請求項 3】

熱エネルギーを対象物からヒートシンクに伝達する伝熱方法であって、
 複数のピンが前記対象物の表面と巨視的に接触して前記表面に略一致するように、前記複数のピンを前記対象物の表面に押しつける付勢手順と、
 熱エネルギーを前記対象物から前記ピンを経て、前記複数のピンとの間に複数の空隙を形成している伝熱体に伝達する手順と
 を含むことを特徴とする伝熱方法。